

平成24年 第11回教育委員会 会議録

日 時	平成24年10月31日（水） 午後3時～4時40分
場 所	向日市役所 第6会議室
出席委員	前田委員長、雨宮委員、白幡委員、松本委員、奥野教育長
欠席委員	なし
事務局	教育部長、次長兼教育総務課長、次長兼学校教育課長、生涯学習課長、学校教育課担当課長、学校教育課主幹2名、教育総務課長補佐
議 題	委員会諸報告
傍 聴 者	なし
委員長	開会宣言 本日は議案がないので、委員会諸報告について説明を願う。
事務局	— 文化遺産DVDの活用について — DVDの紹介・視聴（長岡宮跡、森本遺跡） 視聴した内容については、小学校4年生、6年生の社会科や総合的な学習の時間での導入やまとめでの活用が効果的である。 各学校に文化遺産DVD、「大発見向日市」の冊子が配布されており、児童・生徒の学習に効果的に活用するようにすすめている。
事務局	— いじめ問題に係る緊急調査の状況について — 報告（別紙資料①参照） 【質疑等】
委員	いじめの認知の中にはアンケートには書かれていないが、教師が気づいたケースはあるのか。
事務局	本人からの訴えがなくても、アンケート実施後、普段の様子等から気になる全ての児童生徒に面談を実施し、児童生徒に見守っているという安心感が伝わるようにしており、その中で把握したケースもある。
委員長	教師の資質や感性、ちょっとした子どもの変化を見る目を磨いてもらうことが大切だし、変化や気づきを他の教師と共有することも大切である。 いじめは、人権問題で一番大切なもののひとつであり、いじめの早期発見・対応や未然防止のためには、先生だけでなく、保護者の協力も大切で

	ある。
委員	いじめの事例が出てきたら、それを教材として指導につなげていくことも可能ではないか。
教育長	府の方で作成されたいじめ対応のマニュアルを全教職員に配布し、その徹底を図っているところであるが、現在、指導に関わって事例集の作成も進められていると聞いている。
委員	いじめアンケートで把握したケースへの指導の状況はどうか。
事務局	個別に指導しており、どのケースについても解消の方向である。
教育長	中学校は教育相談の時期に入っており、独自にアンケートもとりながら取り組んでいる。アンケートについては、府の方でもまた調査が行われる予定であるが、こういった手法や内容でということも含め今後検討を加える必要がある。
委員長	次の報告を願う。
事務局	— 京都市・乙訓地域における公立高校の新しい教育制度（案）について — — 報告（別紙資料②参照）
	【質疑等】
委員長	自分のやりたいことができるような高校選択であることが大切である。
教育長	行きたい高校へ行けるようになるための制度改革であるとお聞きしている。今後、各高校では中学生が選択できるように特色を出していかれることになる。
委員長	公立高校は教員が異動により替わるので特色を出すのは難しいのではないか。
教育長	難しい面もございますが、府立高校だけでなく、市立高校もあるので、京都府と京都市が、調整されながら話し合われているように伺っている。
委員	説明会を地元でという話もあるが、どの保護者にも知ってもらえるようにしてもらいたい。

教育長	<p>多くの保護者に聞いてもらえるよう、広く広報していただけるようにと いうことで話をしている。あとは各学校がどう特色を出していかれるかが 大切である。</p>
委員長	<p>次の報告を願う。</p>
事務局	<p>— 京都府学校給食モニタリング事業について —</p> <p>○趣旨 京都府教育委員会が文部科学省の委託を受け、児童・生徒のより一層の 安心・安全を確保するため、学校給食における放射性物質の有無や量につ いて把握するため、学校給食一食全体について事後検査を実施。</p> <p>○検査実施日 平成24年10月30日から平成25年2月26日までの10回。</p> <p>○検査方法 対象市町を7グループに分け、提供後の給食1食分をグループ単位で検 査機関でミキシングし、まとめて検査（ゲルマニウム半導体検出機により セシウム量検査）する。</p> <p>○結果について 京都府教育委員会ホームページ及び学校だより等により公表。</p>
委員	<p>【質疑等】 実施計画で平成25年が4校となっているのはなぜか。</p>
事務局	<p>京都府から今年度10回と決められていることによる。</p>
委員	<p>検出された場合は、公表されるとのことだが、その後はどのような対応 をするのか。</p>
事務局	<p>専門家の評価をあわせて京都府が公表することになっており、検出した 食材が特定されれば、保存している同じ食材の使用について検討する。 検出限界が10ベクレルであるが、国の一般食品の基準が100ベクレ ルであり、例えば、10数ベクレル検出されても基準値以内である。 牛乳・乳製品や乳児用食品の基準値が50ベクレルとなっていることか ら長岡京市では、一般食品の場合も50ベクレルを基準とし、それ以上の 場合は提供しないとしている。 本市においても、保護者の安心を得るため同様の取扱いをしたいと考 えている。それ以上検出された場合は廃棄する。また、その食材の産地のも のは当面避ける。</p>

委員長	次の報告を願う。
事務局	<p>— スポーツを通じたまちづくりに関するフレンドシップ協定の締結について —</p> <p>本市は、平成22年から京都サンガF.Cのホームタウンとして、また、京都ハンナリーズには、平成21年から向日市民体育館をレギュラーシーズンの開催アリーナとして使用してもらうなど、京都のプロスポーツチームとの関係を築いてきた。</p> <p>今回、市制40周年を機にこの関係を更に深め、スポーツを通じた市民の健康づくりの推進及び相互の発展に資するため、三者協定を締結した。</p> <p>○締結日 平成24年10月9日（火） 向日市民会館にて</p> <p>○協定概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・向日市 広報紙、ホームページやノボリ掲出等による広報、スポーツ、健康づくり教室等の開催などの支援 ・京都サンガF.C、京都ハンナリーズ 開催試合を「向日市民デー」に設定、スポーツ、健康づくり教室等への選手・トレーナーの派遣協力。 <p>今後は、向日市、京都サンガF.C、京都ハンナリーズ、（財）向日市スポーツ文化協会の4者による協議の場において、相互支援の内容充実を図っていく予定である。</p> <p>【質疑等】</p>
委員	京都にあるプロ球団というならば、京都アストドリームス（女子野球チーム）もある。協定に加えることで女子チームであるがゆえに相互支援の幅が広がるのではないか。
事務局	今回は、向日市に縁のある球団ということで、この協定を締結したものである。
委員	スポーツを通じて体力向上や健康増進を図ることは、市民にとって良いことである。今後、事業の幅を広げて行ってほしい。
委員長	閉会宣言